

# ホタテガイ養殖管理情報

## 稚貝の大きさが平年よりも大きいため、早めの分散作業を

### 1 海況

9月13日時点の陸奥湾の中層（10～15m層）の日平均水温は図1、2のとおりです。

### 2 稚貝の状況について

9月13日に久栗坂実験漁場と川内実験漁場の稚貝を調査しました。測定結果は表1のとおりです。

平均殻長は久栗坂実験漁場で23.6mm、川内実験漁場で23.3mmと、過去15年の平均値（それぞれ20.4mm、17.4mm）よりも大きいサイズとなっています。

へい死率は久栗坂実験漁場で0%、川内実験漁場で0.6%と、過去15年の平均値（それぞれ7.3%、1.2%）よりも低い値となっています。

### 3 稚貝分散作業時の注意点

- 稚貝の大きさが平年よりも大きいため、分散が遅れると、稚貝の成長悪化や、異常貝増加によるへい死につながるので、作業は11月末までに終わらせるようにしましょう。
- また、1段当りの収容枚数が多いと同様に成長悪化やへい死につながるので、養殖方法に応じた適正な収容枚数（1段当り10～20枚）を心がけて作業してください。
- 潮流によるぶつかり合いで、外套膜（ヒモ）が傷ついてへい死しないように、ネットにはオモリをつけましょう。また、潮流が速い場合は、作業を控えましょう。
- 作業終了後は波浪によるぶつかり合いを防ぐために、施設を浮かせずぎないようにしましょう。

### 4 新貝の養殖管理について

籠換え・掃除は、貝の体力回復の目安となる「フチがまわっている」ことを確かめてから開始するようにしてください。

### 5 その他

水温は地区によって異なるので、作業の前には陸奥湾海況情報や海ナビ@あおもり（下記URL、QRコード）で水温を確認してください。

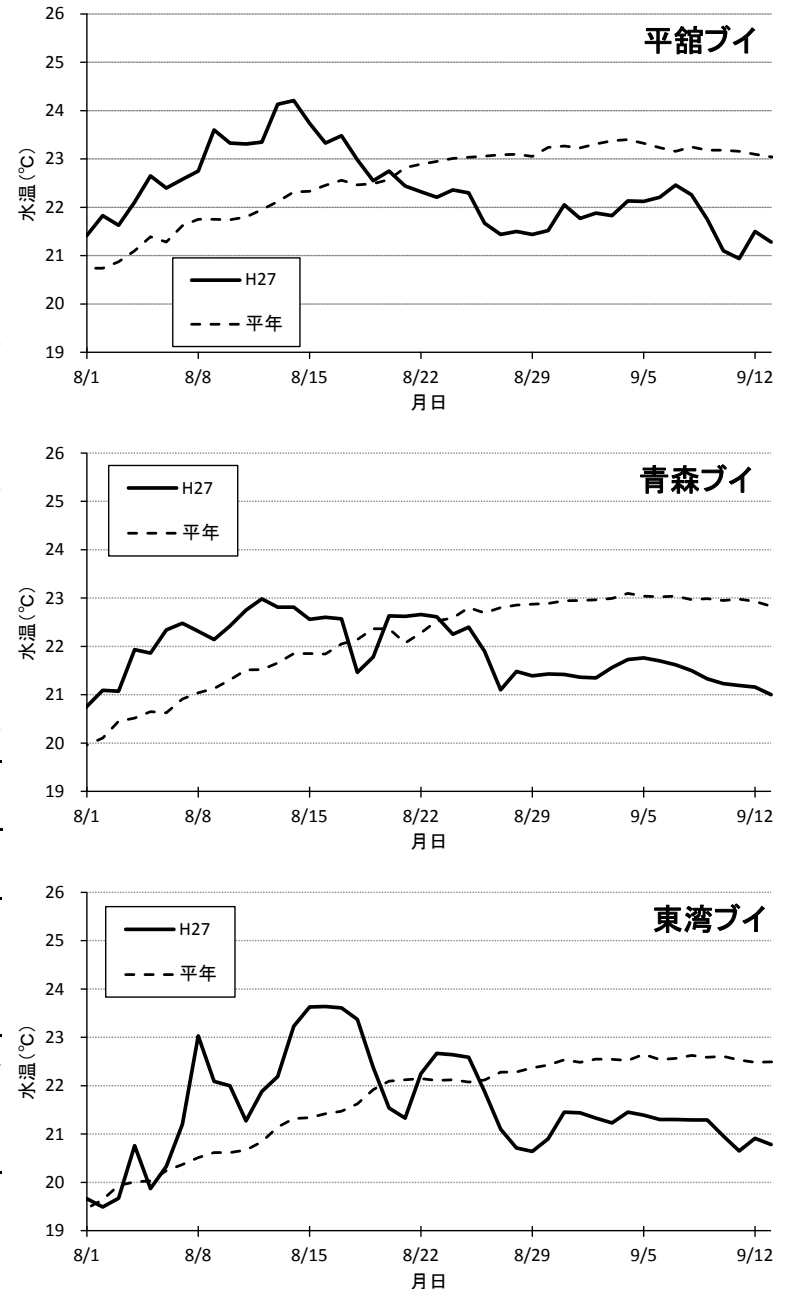


図1 海況自動観測ブイでの15m層の日平均水温の変化

表1 現在の稚貝の状況

| 調査場所        | 久栗坂実験漁場 | 川内実験漁場* |
|-------------|---------|---------|
| 調査月日        | 9月13日   | 9月13日   |
| 垂下水深(m)     | 31      | 26      |
| 稚貝採取時期      | 7月10日   | 7月13日   |
| 採苗時の篩の目合(分) | 2       | 2       |
| 3段分の収容枚数(枚) | 154     | 165     |
| 〃 死貝数(枚/段)  | 0       | 1       |
| へい死率(%)     | 0.0     | 0.6     |
| 平均殻長(mm)    | 23.6    | 23.3    |

\*：久栗坂実験漁場の稚貝採取後に余った稚貝を採取した



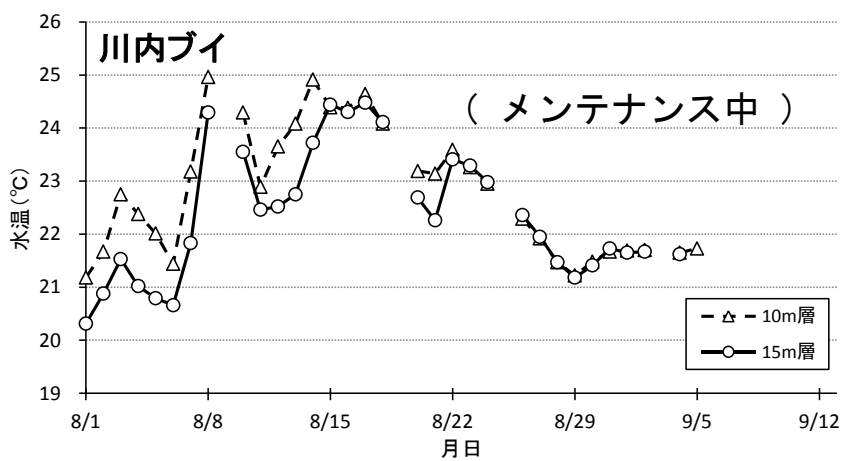
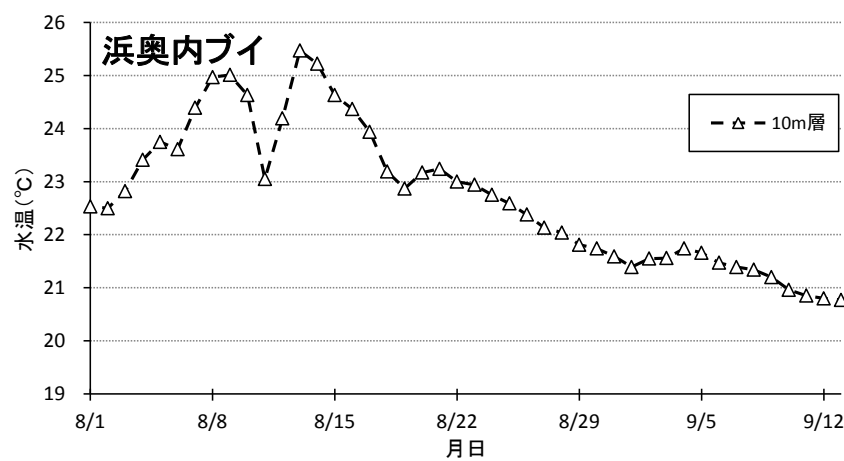
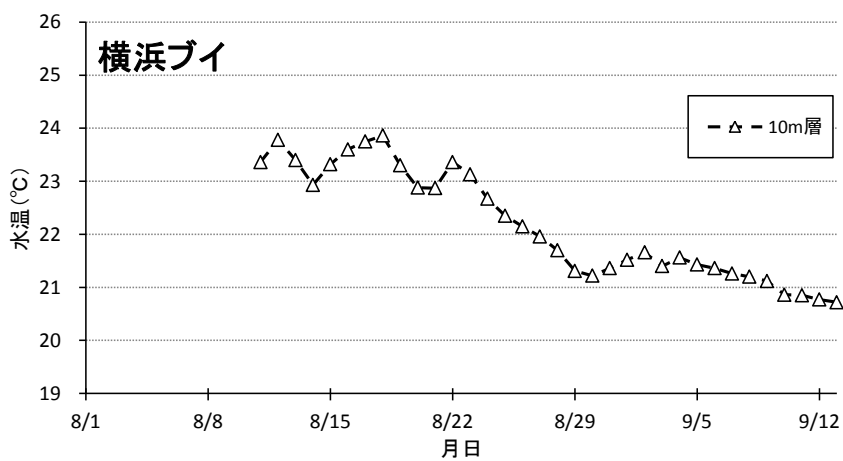
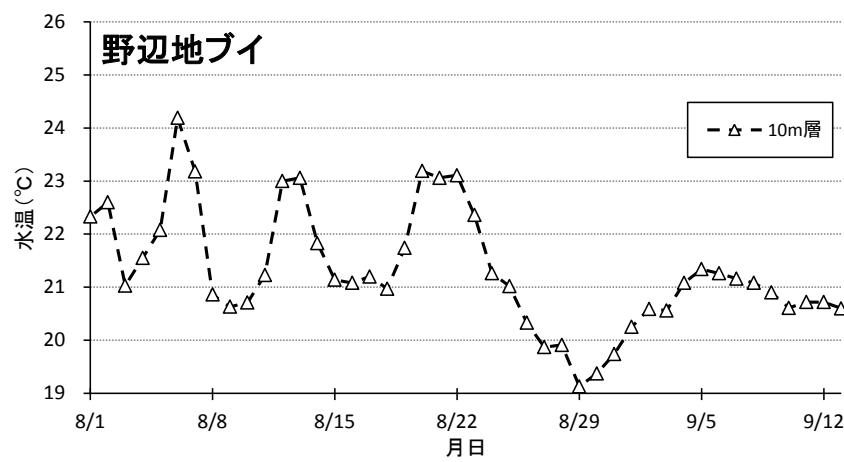
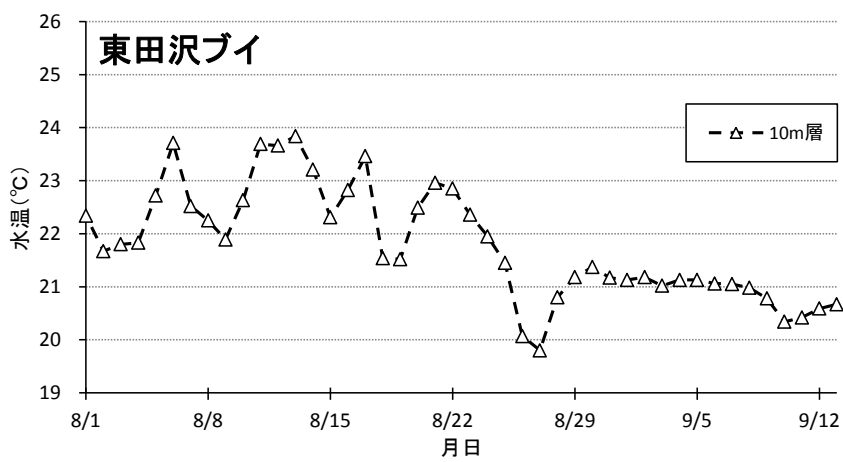
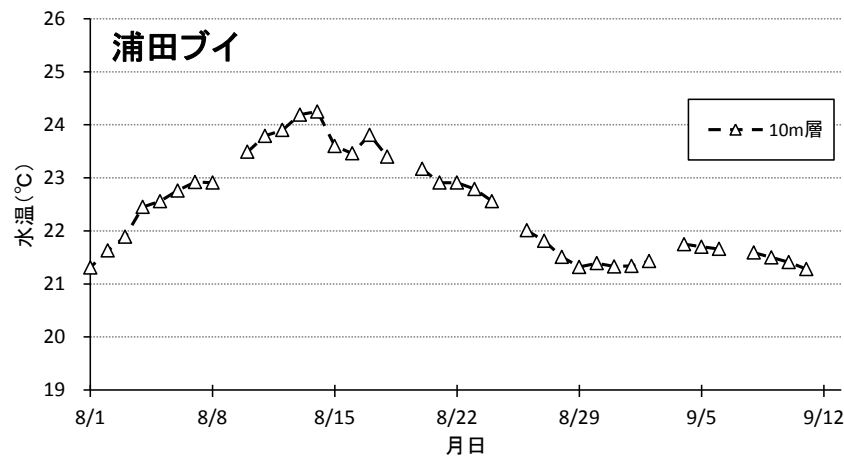
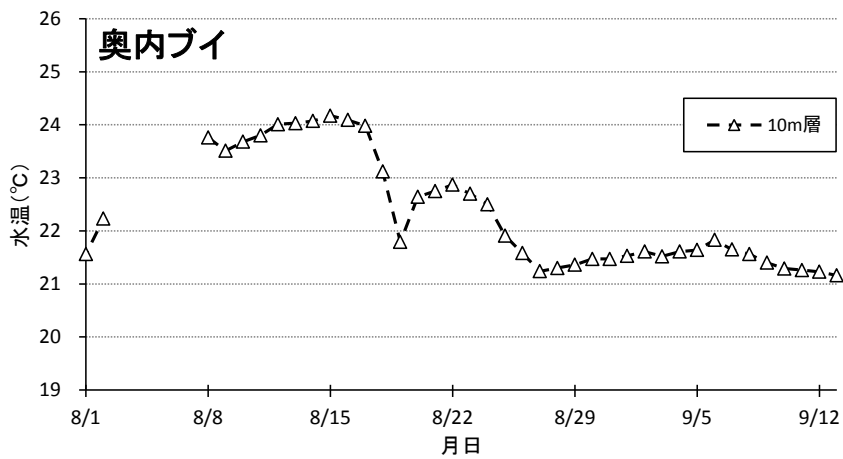


図2 水温観測ブイでの中層（10～15m層）の日平均水温の変化